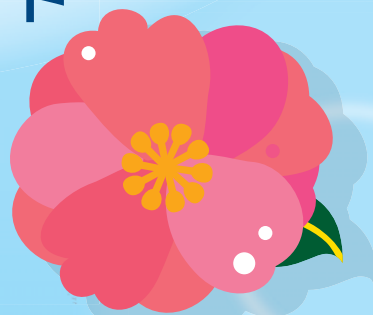
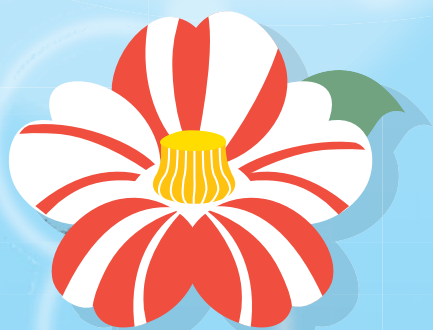
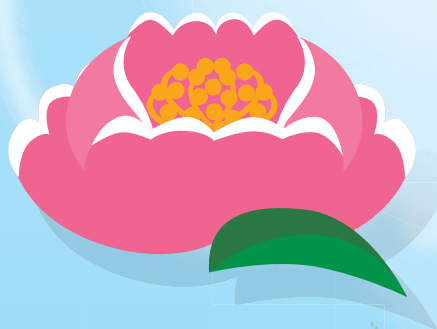
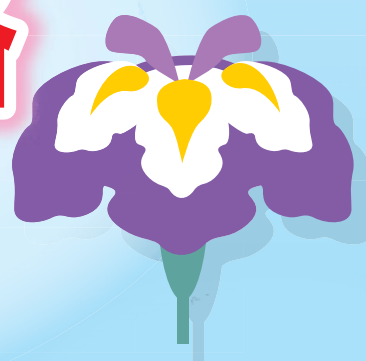




幸せ実感くまもと 4力年戦略

2015

進捗レポート



平成27年12月
熊本県

熊本県では、平成24年6月に策定した県の取組みの基本方針「幸せ実感くまもと4力年戦略」に基づき、「県民一人ひとりが幸せを実感し、住み慣れた地域で夢を持ち、誇りに満ちた暮らしが送れる熊本」の実現に向けた取組みを全力で進めています。

このレポートは、4力年戦略の進捗状況(主な動きや成果等)をお伝えするために作成しました。4力年戦略の最終年度である今年度は、10月に地方創生に向けた「熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、4力年戦略の更なる「深化」と「進化」をめざしています。市町村や県民の皆様とともに県民幸福量の最大化に向けて取り組んで参りますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

熊本県知事 蒲島 郁夫

平成27年度の主な動き

※3ページから平成26年度の主な成果を掲載しています。

“活力を創る”



フードバレーアグリビジネスセンターが本格稼働



稼げる農業をめざした九州最大の広域農場の設立((農)かしま広域農場)

地方創生に向けた動き



- 地方創生に向け、関係者がそれぞれ主体となって推進する組織として、幸せ実感くまもと「まち・ひと・しごと」づくり推進会議を設置。
- 地方創生に向けた市町村支援の窓口として「熊本県版地方創生コンシェルジュ」を設置。
- 本県の人口の現状や将来展望を示した「熊本県人口ビジョン」、これを実現するための取組みの方向性や施策をまとめた「熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。

“アジアとつながる”



熊本—台湾高雄間の定期便が就航



熊本—香港間の定期便が就航



日本初のアジア認知症学会が本県で開催され、アジアに向けて本県の取組みを発信



八代港をはじめ県内各港へのクルーズ船寄港が急増



「くまもと香港事務所」を開設し、更なる輸出拡大や誘客促進に向けた活動をスタート

幸せ実感くまもと4力年戦略とは

- ・ 県の取組みの基本方針(戦略の期間:平成24~27年度)です。
- ・ 前戦略(「くまもとの夢4力年戦略(平成20~23年度)」)における「**県民幸福量の最大化**」の考え方を継承しながら、さらに「**県民が幸せを実感できる**」よう、4年間で重点的に推進する主な施策を明らかにしたものです。

特徴

- ・ 4つの「めざす姿」を掲げ、その実現に向けた「取組みの方向性」と「15の戦略」で構成しています。
- ・ 「15の戦略」の進捗状況を分かりやすく示す指標(延べ77の戦略指標)と目標値を設定しています。

●詳しくはホームページをご覧ください。

幸せ実感くまもと

検索

“安心を実現する”



小中学校でフッ化物洗口の実施率が向上

性暴力被害者のためのサポートセンター「ゆあさいどくまもと」運営の開始



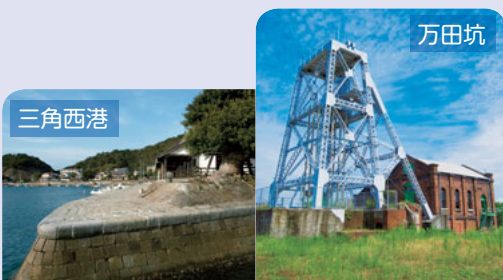
ブライト企業*1推進事業をスタート

*1 ブライト企業とは、働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる企業のこと。

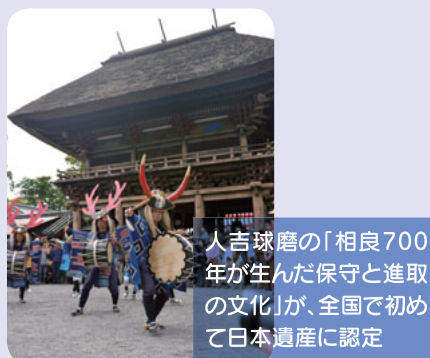


熊本地方合同庁舎B棟が、南海トラフ地震発生時の九州における国の現地対策本部に選定

“百年の礎を築く”



万田坑、三角西港を含む「明治日本の産業革命遺産」の世界遺産登録が決定



人吉球磨の「相良700年が生んだ保守と進取の文化」が、全国で初めて日本遺産に認定



公共関与最終処分場「エコくまもと」が稼働を開始。また、同施設の屋根に設置した「くまもと県民発電所」第1号が発電を開始。



中・高生に夢をもつことの大切さを伝えるため「熊本時習館ドリームフェスタ」を開催



中・高・大学生45名を2020東京オリンピック強化指定選手に選定



三池港IC連絡路中心杭打ち式の開催。有明海沿岸道路(Ⅱ期)へ弾み。

“活力を創る”

(平成26年度の主な成果)

戦略
1

ビッグチャンスを生かす

～県経済の力強い成長をリードします～



KUMADAI 耐熱マグネシウム合金の事業化例

○次世代耐熱マグネシウム合金¹と有機薄膜²に関する計5件の試作品開発の支援等、熊本発の新製品創出につながる事業化・実用化の動きが加速。

- * 1 熊本大学で開発された、これまでの常識を覆す強度と耐熱性を持つ「KUMADAIマグネシウム合金」のこと。
- * 2 有機薄膜太陽電池や有機EL、有機EL照明等に共通して必要となる技術のこと。



くまもと県南フードバレー・県南産品を取扱う西鉄ストア店舗内の「くまもと産直市場」

○「くまもと県南フードバレー構想」¹では、事業者間の連携などが進み、販路拡大や商品開発等の活動が生まれるとともに、県外で県南地域の産品の取扱いが拡大。

- * 1 県南地域(八代、水俣・芦北、人吉・球磨)の豊富な農林水産物を生かし、食関連の研究開発機能や企業を集積させる「フードバレー」の形成を推進することで地域の活性化をめざす構想。熊本県がH25年3月策定。



杖立流 Neo 湯治プログラム

○新しい温泉プログラムの開発や、JR九州・西日本等とのタイアップによる「リメンバー九州」キャンペーンなどを展開。



くまモンが秋田県を訪問し、全都道府県訪問を達成

○利用商品の年間売上高が643億円を超えるなど、くまモンは引き続き大きな効果を発揮。

戦略指標	戦略策定時 (年度)	H27年度 評価時	指標の 動向	達成度	目標値 (H27年度)
リーディング企業育成数	1社 (H23)	4社	➡	20.0%	20～30社
企業立地件数	91件/4年 (H20～H23)	102件	➡	102.0%	100件/4年 (H24～H27) 達成
企業立地による新規雇用予定者数	5,299人/4年 (H20～H23)	3,065人	➡	55.7%	5,500人/4年 (H24～H27)
【補】新たな材料(有機薄膜、熊大Mg等) を活用した商品の市場化件数	0件 (H23)	9件	➡	90.0%	10件
観光客総数	5,723万人/年 (H22)	5,899万人/年	➡	98.3%	6,000万人/年
延べ宿泊者数	647万人/年 (H22)	692万人/年	➡	92.3%	750万人/年
【補】くまモンツイッターフォロワー数	5万人 (H23)	36.2万人	➡	241.3%	15万人 達成

* 「補足的な指標」を【補】と表示しています。

* 「H27年度評価時」とは、H26年度の実績(一部、累計の戦略指標を含む。)のこと。

稼げる農林水産業への挑戦

～農林水産業を再生します～



企業等の農業参入

○認定農業者や地域営農組織等への農地の集積が進むとともに、法人の新規農業参入数、農林水産業への新規就業者数が目標を達成するなど、農地集積と担い手の確保・育成が大きく進展。



地下水と土を育む農業推進条例の制定

○地下水とそれを育む土を50年先100年先の未来へ引き継ぐことを目標に、「グリーン農業」等を施策の柱とした、全国初となる「地下水と土を育む農業推進条例」を制定。



木材の増産体制の整備

○林業では、77,000㎡の増産体制の整備、林建連携による92haの森林整備や約67kmの作業道開設が進む。



養殖魚の輸出に向けた取組み

○水産業では、養殖魚のアジア向け輸出が増加。

戦略指標	戦略策定時 (年度)	H27年度 評価時	指標の 動向	達成度	目標値 (H27年度)
認定農業者や地域営農組織等へ集積する農地面積	—	6,461ha	➡	76.9%	8,400ha / 4年 (H24～H27)
新規就業者数((新規就農者+雇用就農者)+新規林業就業者+新規漁業就業者)	414人/年 (H22)	667人	➡	126.8%	526人/年 達成
【補】モデル産地でのPQCの効果 (水稲のコスト(水稲経営費)削減)	86,194円/10a (H22)	70,161円/10a	➡	<-16,033>	68,000円/10a
木質バイオマス加温機の導入台数	4台 (H23)	124台	➡	72.9%	170台
農業への参入法人数	50法人 (H23)	119法人	➡	119.0%	100法人 達成
林建連携数(林建連携協定締結数)	35社 (H23)	57社	➡	95.0%	60社
くまもとグリーン農業に取り組む農業者	2,844戸 (H23)	14,942戸	➡	65.0%	23,000戸
県産農林水産物の認知度* <*「くまもとの赤」の認知度>	—	20.9%	➡	59.7%	35%

【戦略2】稼げる農林水産業への挑戦

戦略 3

地域力を高める

～政令指定都市以外の地域振興を重点的に進めます～



ロアッソ熊本のホームゲーム

○ロアッソ熊本ホームゲーム平均入場者数が順調に増加し、目標を達成。



水俣・芦北地域における産業振興の取組み

○地域製品の取引拡大等をめざし、地域企業が共同で出資した株式会社の設立等が実現。



西日本で初めてとなる五木村のブリッジバンジージャンプ

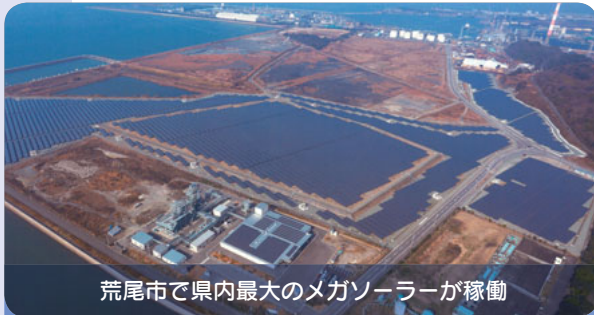
○多目的広場の整備やバンジージャンプの通年実施など、水没予定地の利活用が本格化。

戦略指標		戦略策定時 (年度)	H27年度 評価時	指標の 動向	達成度	目標値 (H27年度)
地域力を高める 【戦略3】	県内の主要な都市農村交流促進施設の 年間来訪者数	531万人／年 (H22)	563万人	➡	95.4%	590万人／年
	新幹線利用者数(新幹線4駅の乗降客数)	637万人／年 (推計値)	708万人	➡	105.7%	670万人／年 達成
	【補】ロアッソ熊本ホームゲーム1試合平均 入場者数	6,928人 (H23)	7,002人	➡	101.1%	前年度の平均 入場者数を上回る 達成
	【補】地域づくりチャレンジ推進事業(4分野) の実施件数	74件／年 (H23)	114件	➡	142.5%	80～100 件／年 達成

戦略 4

未来型エネルギーのトップランナー

～新エネ・省エネの先進県をめざします～



荒尾市で県内最大のメガソーラーが稼働

○メガソーラーの設置数が、中長期目標(H32年度・50件)を超える61件まで増加。



県内第1号の温泉熱発電所(小国まつや発電所)

○県内第1号の温泉熱発電所が運転を開始するなど、新エネルギー導入が加速。

戦略指標		戦略策定時 (年度)	H27年度 評価時	指標の 動向	達成度	目標値 (H27年度)
【戦略4】未来型エネルギーの トップランナー	県内への新エネルギー導入量(原油換算)	32万kL／年 (H22)	48万kL／年	➡	120.0%	40万kL／年 達成
	【補】木質バイオマス加温機の導入台数 <再掲>	4台 (H23)	124台	➡	72.9%	170台
	【補】メガソーラーの設置数	2件 (H23)	61件	➡	610.0%	10件 達成
	【補】住宅用太陽光発電設備の設置率	5.63%・全国2位 (H22)	10.83% 全国2位	➡	...	全国1位
	県のエネルギー消費量(将来推計値)からの 削減量(原油換算)	—	33万kL／年	➡	183.3%	18万kL／年 達成
	【補】熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ 運動推進会議の会員(団体)数	304会員 (H23)	510会員	➡	85.0%	600会員

“アジアとつながる”

(平成26年度の主な成果)

戦略
5

アクション・アジア

～成長するアジアの市場に打って出ます～



熊本と台湾高雄との定期チャーター便が就航



「やつしろ全国花火競技大会」に合わせ、クルーズ船が寄港



くまモン商品の台湾・香港でのコンビニとのタイアップ



くまもとアートポリス2014アジア国際シンポジウムを開催

- シンガポール・香港での延べ32品目の物流試験及び延べ10業者・19品目の販売実証、インドネシアへの県産ハラール牛肉輸出の取組み、台湾や香港でのコンビニとタイアップしたくまモン商品等県産品の販売等により、マーケットの開拓を推進。
- 熊本港、八代港のコンテナ取扱数がそれぞれ過去最高を記録したほか、熊本港では、水深7.5m航路や防波堤、八代港では、水深14m航路やガントリークレーンの大型化など、物流機能向上のための整備を推進。
- 海外からの誘客について、外国人宿泊者数が過去最高を更新。
- 国際航空路線の誘致・拡充について、熊本と台湾高雄との定期チャーター便が就航し、H27年4月以降も継続が決定するなど、台湾高雄線のほか、中国福建省を含めて199便のチャーター便が実現。
- 八代港へのクルーズ船の誘致活動により、「やつしろ全国花火競技大会」に合わせ、クルーズツアーが実施され、約2,000人の乗客が来訪。
- くまもとアートポリスの取組みをアジア諸国にも広く発信するとともに、県内で建築を学ぶ学生とアジア諸国の学生の交流を深めることを目的としてアジア国際シンポジウムを開催。

戦略指標	戦略策定時 (年度)	H27年度 評価時	指標の 動向	達成度	目標値 (H27年度)
アジア地域への輸出及び進出を行っている 県内企業・農業団体等の数(中国)	延べ57 (H23)	138	➡	160.5%	延べ86 達成
アジア地域への輸出及び進出を行っている 県内企業・農業団体等の数(アセアン)	延べ27 (H23)	152	➡	380.0%	延べ40 達成
アジア地域への輸出及び進出を行っている 県内企業・農業団体等の数(台湾)	延べ16 (H23)	64	➡	278.3%	延べ23 達成
延べ外国人宿泊者数	33万人/年 (H22)	48万人	➡	80.0%	60万人/年
うちアジアからの延べ外国人宿泊者数	30万人/年 (H22)	45万人	➡	81.8%	55万人/年
留学生の数	575人/年 (H23)	735人	➡	73.5%	1,000人以上/年

【戦略5】アクション・アジア

“安心を実現する”

(平成26年度の主な成果)

戦略 6

長寿を楽しむ

～長寿を恐れない社会から長寿を楽しむ社会へ～



健康寿命をのばすための6つのアクション



「地域の縁がわ」活動風景

○「くまもとスマートライフプロジェクト」を開始し、県民等の健康づくりに協力をする20企業等を応援団として登録。

* 1 県民の健康寿命をのばすために、企業・団体等の皆様と一緒に健康づくり活動の実践を促すもので、6つのアクションを呼びかけている。

○「地域の縁がわ」の目標数を達成し、交流や見守り、安否確認の場が増加。

○認知症サポーターの養成率が6年連続日本一。

戦略指標	戦略策定時(年度)	H27年度評価時	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
地域の縁がわ箇所数	276か所(H23)	520か所	➡	104.0%	500か所 達成
シルバーインストラクター登録人数	—	82人	➡	68.3%	120人
認知症サポーター活動が活性化している市町村数	12市町村(H23)	43市町村	➡	95.6%	45市町村
訪問看護ステーションがある市町村数	31市町村(H23)	44市町村	➡	97.8%	45市町村
【補】県内の自治体病院における常勤医師数	316人(H23)	326人	➡	97.0%	336人

戦略 7

子どもの育ちと若者のチャレンジを応援

～熊本の未来の元気をつくります～



保育所等の施設整備への支援

○7市町村・15カ所への整備補助で保育所の定員が1,090人分増加。



高校生の事業所でのインターンシップ

○県立高校全校でインターンシップを実施し、体験生徒と受入事業所とも増加。

戦略指標	戦略策定時(年度)	H27年度評価時	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
放課後児童クラブの実施市町村数	39市町村(H23)	40市町村	➡	97.6%	41～45市町村
保育所入所待機児童数	194人(H23)	659人	➡	<+465>	0人
住民が病児・病後児保育のサービスを利用できる市町村数	20市町村(H23)	27市町村	➡	60.0%	45市町村
【補】くまもと子育て応援の店・企業登録数	2,442件(H23)	2,800件	➡	87.5%	3,200件
就職支援を希望する高卒未就職者の就職決定率	97.4%(H23)	93.8%	➡	93.8%	100%
ジョブカフェ利用者における就職決定数	1,782人/年(H23)	1,883人	➡	89.7%	2,100人/年
【補】若者サポートステーション進路決定者数	291人/年(H23)	568人	➡	142.0%	400人/年 達成

戦略
8

障がいのある人が暮らしやすい熊本

～ともに支え、ともに担う社会をつくります～



熊本かがやきの森支援学校



民家を改修して整備したグループホーム

○24時間対応の相談支援事業所が前年比6カ所増(計28カ所)、県立熊本かがやきの森支援学校の開校、県発達障がい医療センターによる地域医療機関への専門支援、県立こころの医療センターによる「こころの思春期外来」の診療体制強化等、地域での暮らしを支える体制整備が進展。

○ハローワークを通じた障がい者の就職件数が11%増の2,169件となり、目標を達成。

戦略指標	戦略策定時(年度)	H27年度評価時	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)		
【戦略8】障がいのある人が暮らしやすい熊本	障がい者の日中活動系サービスの利用量(定員数)	8,709人/日(H23)	10,920人/日	➡	114.9%	9,500人/日	達成
	発達障がいを早期発見するための問診票を用いた健診の実施市町村数	9市町村(H23)	45市町村	➡	100.0%	45市町村	達成
	障がい者の就職件数	1,265人/年(H23)	2,169人	➡	135.6%	1,600人/年	達成

戦略
9

人が人として互いに尊重される安全安心な熊本

～一人ひとりを大切に、一人ひとりが大切にされる、安全安心な社会を実現します～



産官学による「熊本県女性の社会参画加速化会議」の設置



高病原性鳥インフルエンザ発生に備えた防疫演習

○都道府県初となる、産官学が連携して取り組む「女性の社会参画加速化戦略」を策定。

○高病原性鳥インフルエンザに対して、関係機関と連携し、最速日程での終息。

○自殺予防ゲートキーパー養成者数や、民間企業の管理職に占める女性の割合が目標値を達成。

○官民一体となった取り組みにより刑法犯認知件数が11年連続で減少。

○「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」の制定などの取り組みを進め、交通事故死傷者数も減少。

戦略指標	戦略策定時(年度)	H27年度評価時	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)		
【戦略9】人が人として互いに尊重される安全安心な熊本	民間企業における管理職(係長以上)に占める女性の割合	23.4%(H23)	26.8%	➡	103.1%	26.0%	達成
	【補】自殺予防ゲートキーパー養成者数	240人(H23)	857人	➡	102.0%	840人	達成
	【補】県の審議会等における女性委員の登用率	37.2%(H23)	37.2%	➡	93.0%	40%	
	【補】育児参加に係る休暇を取得した男性職員の割合	76.7%(H22)	78.1%	➡	78.1%	100%	
	街頭犯罪を中心とした14罪種の認知件数	10,423件/年(H20~H23平均)	6,650件	➡	<-3,773>	過去4年間の平均認知件数を下回る	達成
	24時間交通事故死者数	86人(H23)	76人	➡	<-10>	56人以下	
	交通事故死傷者数	13,524人(H23)	9,726人	➡	<-3,798>	11,000人以下	達成
	消費生活相談ネットワーク体制整備市町村数	10市町村(H23)	45市町村	➡	100.0%	45市町村	達成

災害に負けない熊本

～熊本の防災力を高めます～



阿蘇くまもと空港での広域医療搬送訓練



自主防災組織の活動



耐震改修工事を完了した校舎



白川の河道切替え区間の工事に着手

- 防災情報メールサービスの登録者数、自主防災組織率が着実に増加し、緊急速報メールは全市町村で導入。
- 南海トラフ地震に関し、阿蘇くまもとと空港が国の「大規模な広域防災拠点」に選定されるとともに、拠点施設の機能強化に向け整備を推進。
- 公立・私立の各学校の耐震化率が上昇。
- 熊本広域大水害を受けた白川水系の激特事業¹で河道切替え区間の工事に着手するとともに、土砂災害警戒区域等の指定率の上昇、さらに津波高波対策としての7.0kmの堤防整備の促進や有明海沿岸道路一部区間で国の計画段階評価が早期完了するなど、インフラ整備が進展。

* 1 洪水や高潮等により大きな被害が発生した地域において、再度災害防止を図るため、概ね5カ年で緊急に河川改修を行う事業（河川激甚災害対策特別緊急事業）

戦略指標	戦略策定時 (年度)	H27年度 評価時	指標の 動向	達成度	目標値 (H27年度)
自主防災組織率	55.2% (H23)	76.7%	➡	95.9%	80%
県立学校の耐震化率	83.1% (H23)	97.7%	➡	97.7%	100%
市町村立小中学校施設の耐震化率	82.8% (H23)	98.5%	➡	98.5%	100%
私立学校施設の耐震化率	58.9% (H23)	74.1%	➡	98.8%	75%
【補】県防災情報メールサービスの登録件数	21,355人 (H23)	27,809人	➡	69.5%	40,000人

【戦略10】災害に負けない熊本

“百年の礎を築く”

(平成26年度の主な成果)

戦略 11

熊本都市圏の拠点性向上

～将来の州都をめざします～



県内の学生による「州都イメージ発表会」

- 「道州制シンポジウム」や、県内の学生による「州都イメージ発表会」を開催し、道州制や州都に関する周知啓発を推進。
- くまもと移住定住促進戦略推進協議会を設立し、戦略を踏まえた具体的施策を展開。



JR 鹿児島本線高架切替



国道57号の4車線(南阿蘇村立野～大津町瀬田間2.5km)が開通

- 熊本駅では、乗降客数が目標を達成したほか、上熊本駅を含むJR鹿児島本線の上り線全線約6kmと下り線北側約4kmの高架切替を行うなど、周辺を含めた整備が進展。

戦略指標		戦略策定時(年度)	H27年度評価時	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
熊本都市圏の拠点性向上 【戦略11】	県・熊本市の政策連携協定数(熊本県・熊本市政策連携会議で承認された取組み数)	—	14項目	➡	<+14>	毎年度着実に増加を図る
	阿蘇くまもと空港の利用者数	279万人/年(H23)	310万人	➡	103.3%	300万人/年 達成
	熊本駅の乗降客数	893万人/年(推計値)	992万人	➡	107.8%	920万人/年 達成
	幹線道路の整備進捗率(供用率)	41.5%(H23)	45.4%	➡	90.8%	50.0%

戦略 12

悠久の宝の継承

～熊本の宝を磨き上げ、引き継いでいきます～



天草の崎津集落

- 万田坑、三角西港を含む「明治日本の産業革命遺産」や天草の崎津集落を含む「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録に向け、準備が進んだ。



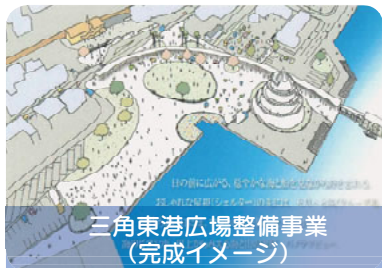
菜の花による景観づくり(イエロープロジェクト)

- 130.71haでイエロープロジェクトが実施されるなど、里モンプロジェクトによる199件の支援を実施。

戦略指標		戦略策定時(年度)	H27年度評価時	指標の動向	達成度	目標値(H27年度)
【戦略12】悠久の宝の継承	文化施設の利用者数	94.8万人/年(H23)	86.2万人	➡	86.2%	100万人/年
	世界文化遺産登録に関連する資産の国指定(選定)件数	5か所(H23)	13か所	➡	92.9%	14か所
	【補】松橋収蔵庫フィールドミュージアム事業における参加者数	1万人/年(H23)	4.7万人	➡	235.0%	2万人/年 達成
	【補】細川コレクション 永青文庫展示関係の入場者数	3万人/年(H23)	3.9万人	➡	97.5%	4万人/年
	熊本地域の地下水涵養増加量(白川中流域水田湛水事業等による涵養量)	2,065万㎡(H23)	2,040万㎡	➡	56.7%	3,600万㎡
	【補】景観行政を行う市町村数	7市町村(H23)	16市町村	➡	100.0%	16市町村 達成
	【補】野焼き・輪地切りボランティア参加者数	2,137人/年(H22)	1,976人	➡	63.0%	3,137人/年

環境を豊かに

～環境意識と行動を高めていきます～



- 「みどりの創造プロジェクト」に新たに4カ所で着手し、県内計24カ所に増加。
- 「くまもと・みんなの川と海づくりデー」に31市町村が取り組んだほか、森林整備や個人設置型浄化槽の整備を推進。

- 水俣条約採択1周年を記念したフォーラムを開催し、水俣市内の中学生から世界に向けたメッセージを作成・発表。
- 九州7県共同で「九州エコライフポイント制度」を実施し、意識啓発を推進。

戦略指標	戦略策定時 (年度)	H27年度 評価時	指標の 動向	達成度	目標値 (H27年度)		
【戦略13】 環境を豊かに	有明海・八代海的环境基準の達成度 (COD)	72.2% (H22)	83.3%	➡	83.3%	100%	
	有明海・八代海的环境基準の達成度 (全窒素・全リン)	83.3% (H22)	83.3%	➡	83.3%	100%	
	一般廃棄物排出量	57万9千トン／年 (H21)	56万5千トン／年 (H25)	➡	<-14,000>	57万2千トン 以下／年	達成
	【補】熊本県ストップ温暖化県民総ぐるみ 運動推進会議の会員(団体)数<再掲>	304会員 (H23)	510会員	➡	85.0%	600会員	
	【補】環境センターの来館者数及び出前 講座の受講者数	157,372人／4年 (H20～H23)	121,340人	➡	74.0%	164,000人／4年 (H24～H27)	

熊本アカデミズム

～「知」の集積を「地」の活力につなげます～



- 6件の研究開発部門を誘致し、目標を大きく上回ったほか、水銀専門家育成のため、県立大学が留学生2名を受入、4名の「くまもと未来会議」委員招へい等により、知の結集・集積を推進。

- 大学コンソーシアム熊本等との連携による留学生の支援、官民出資の世界チャレンジ支援基金を活用した若手芸術家(8人)、高校生(15人)の海外派遣、国のスーパーグローバルハイスクールの指定校(済々黌高等学校)でのグローバル人材育成に向けたカリキュラムの開発着手など、海外との交流促進に向けた仕組みづくりが進展。

戦略指標	戦略策定時 (年度)	H27年度 評価時	指標の 動向	達成度	目標値 (H27年度)		
【戦略14】 熊本アカデミズム	研究開発部門の企業立地件数	9件／4年 (H20～H23)	18件	➡	180.0%	10件／4年 (H24～H27)	達成
	海外高校への留学者数	10人／年 (H23)	44人	➡	44.0%	100人／4年	
	英語の学習が「好き」と回答した生徒 (中1～中3)の割合	46.9% (H23)	52.3%	➡	<+5.4>	毎年度、前年度 の割合を上回る	達成
	英語の学習が「分かる」と回答した生徒 (中1～中3)の割合	46.4% (H23)	51.1%	➡	<+4.7>		
	留学生の数<再掲>	575人／年 (H23)	735人	➡	73.5%	1,000人以上／年	

夢を叶える教育

～次代を担う人材を育てます～



地域の学習教室



放課後子ども教室や学校等へ
くまモンを派遣

○ひとり親家庭等の子どもたちの環境づくりとして、新たに50以上の「地域の寺子屋^{*1}」の仕組みづくりや、107カ所の「応援の塾^{*2}」の登録、38カ所の「地域の学習教室^{*3}」の開所などが進展。

- *1 地域の方々による学校を支援する仕組みの総称。
- *2 ひとり親家庭の子どもたちに対し、受講料の割引制度を設けている塾のこと。
- *3 ひとり親家庭等の子どもたちに、最寄りの地域で学びの場・安らぎの居場所を確保・提供するもの。

- 熊本時習館海外チャレンジ塾を継続し、中・高生の海外進学を総合的に支援。
- ものづくりチャレンジ事業等の推進により受講児童・生徒数が増加し、目標を達成。
- 教員のICT活用指導力を向上させるとともに、県立学校にスーパーティーチャーを配置し、教員の指導力向上を推進。
- 県内全域で「親の学び」講座を開催し、65,427人が参加し、目標を達成。

戦略指標		戦略策定時 (年度)	H27年度 評価時	指標の 動向	達成度	目標値 (H27年度)
【戦略15】夢を叶える教育	教科の学習が「好き」と回答した児童(小3)の割合	77.8% (H23)	77.4%		<-0.4>	毎年度、前年度の割合を上回る
	教科の学習が「分かる」と回答した児童(小3)の割合	83.4% (H23)	84.7%		<+1.3>	
	【補】「親の学び」講座実施率	50.3% (H23)	72.5%		103.6%	70% 達成
	海外高校への留学者数<再掲>	10人/年 (H23)	44人		44.0%	100人/4年
	ものづくりチャレンジ事業・高校生の就業支援等プロジェクトの受講児童・生徒数	1,432人/年 (H23)	1,804人		106.1%	1,700人/年 達成

熊本県しあわせ部



県民幸福量の最大化をめざす熊本県は、平成26年1月にしあわせ部を設立し、くまモンが「しあわせ部長」に就任しました。
 県民の皆さんが身近にある幸せのタネに気づき、「自分や地域にとって、幸せとは何か」を考えて、一人ひとりが主役となった幸せづくり活動が県内各地で広がっていくことをめざしています。



<幸せづくりのアイデア・企画を集める取り組み>

県民の笑顔につながる幸せづくりの企画等を募集し、優れたものを表彰するコンテストを実施しています。



第1回コンテストの様子



第2回コンテストの様子

平成27年度も、周りの大切な人たちの笑顔にしたり、幸せにする企画や写真、動画を募集する「スマイルデザインコンテスト」を開催します。
 詳しくは、ホームページに掲載しています。「スマイルデザインコンテスト」で検索してください。



データで見る戦略の推進状況について

データ
I

戦略指標の動向(まとめ)

～延べ77の戦略指標の戦略策定時と評価時の比較～

全体では66指標が上向き、5指標が横ばい、6指標が下向きとなりました。

また、うち28指標が最終年度(平成27年度)の目標値を達成しました。

取組みの方向性	指標数	上向き ➡	横ばい ➡	下向き ➡	目標値 達成
全体	77	66 (86%)	5 (6%)	6 (8%)	28 (36%)
活力を創る	24	23 (96%)	1 (4%)	0 (0%)	9 (38%)
アジアとつながる	3	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (33%)
安心を実現する	27	24 (89%)	1 (4%)	2 (7%)	9 (33%)
百年の礎を築く	23	16 (70%)	3 (13%)	4 (17%)	9 (39%)

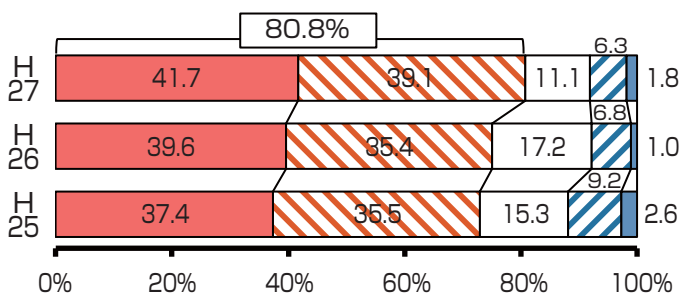
データ
II

県民アンケート結果

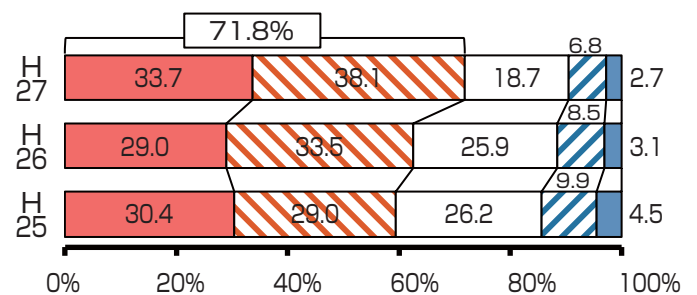
～「幸せ実感くまもと4力年戦略に関する意識調査」の結果～

平成27年6月に県内在住の満20歳以上の男女1,500人を対象に実施した県民アンケートにおいて、「めざす姿」に近づいているかどうかの問いに対する回答の結果は次のとおりでした。

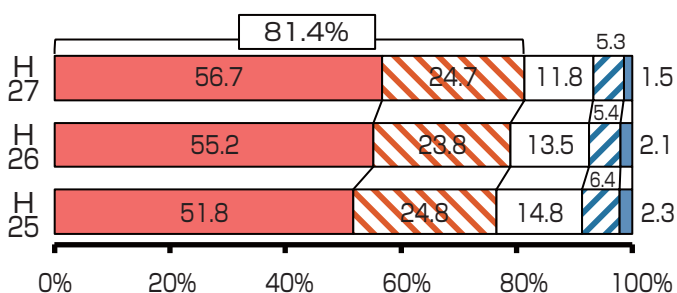
ア “活力を創る”
⇒「活力溢れる元気なくまもと」



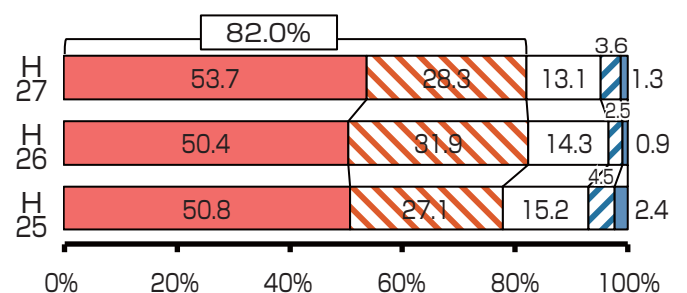
イ “アジアとつながる”
⇒「アジアの中で存在感のあるくまもと」



ウ “安心を実現する”
⇒「いつまでも楽しく、元気で、安心して暮らせるくまもと」



エ “百年の礎を築く”
⇒「誇りを持ち、夢の実現に挑戦するくまもと」



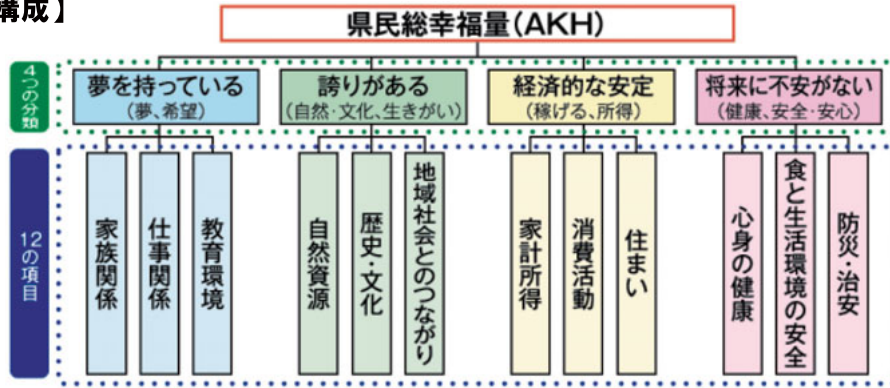
■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う □ どちらでもない ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

県民総幸福量(AKH: Aggregate Kumamoto Happiness)

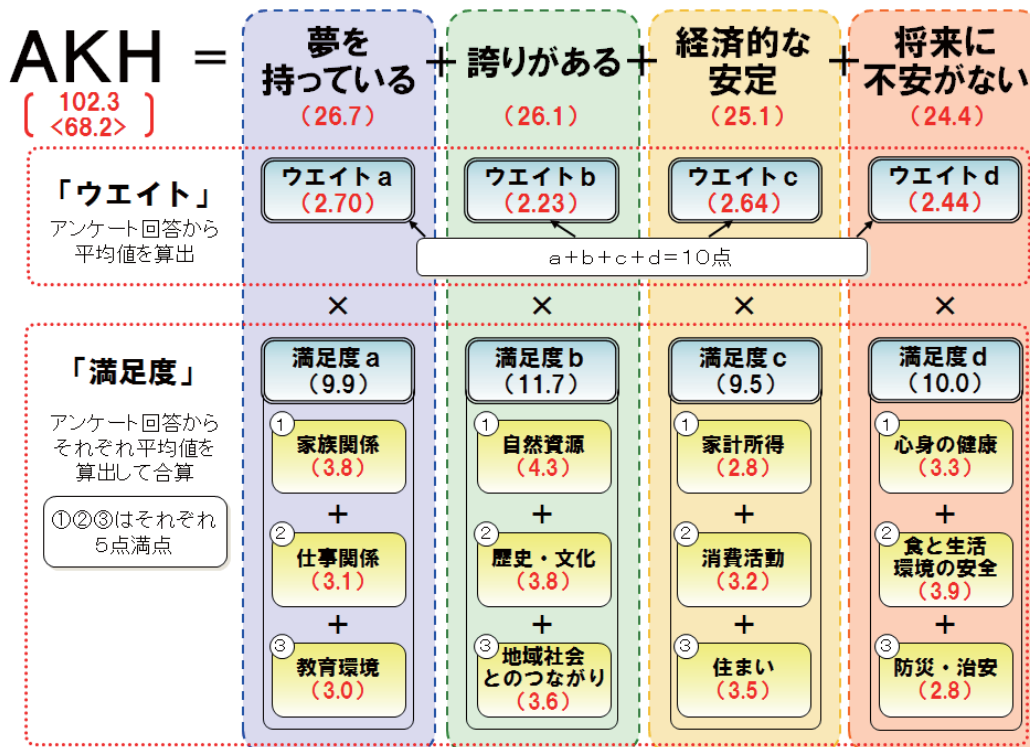
～「県民の幸福に関する意識調査」に基づく県民の幸福量の算出～

- 「県民総幸福量(AKH)」とは、蒲島県政の基本理念である「県民幸福量の最大化」の考え方を県民と共有し、効果的な施策につなげるために、県民幸福量を測る総合指標として作成しているものです。
- 幸福の要因を「夢を持っている」「誇りがある」「経済的な安定」「将来に不安がない」の4つに分類し、その要因ごとの「満足度」や、どの程度それを重視するかという「ウエイト」を県民アンケートにより測定し、それぞれ掛け合わせて合計する仕組みです。

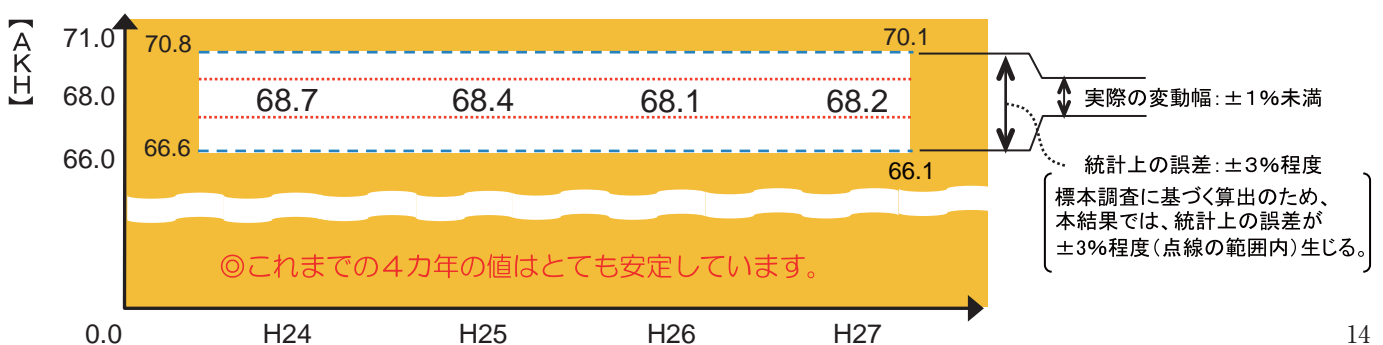
【AKHの構成】



【AKHの計算式と算出結果 (H27)】



【AKHの推移: H24⇒H27】



幸せ実感くまもと4カ年戦略(構成)

“活力を創る”

- 【戦略1】ビッグチャンスを生かす
～県経済の力強い成長をリードします～
- 【戦略2】稼げる農林水産業への挑戦
～農林水産業を再生します～
- 【戦略3】地域力を高める
～政令指定都市以外の地域振興を重点的に進めます～
- 【戦略4】未来型エネルギーのトップランナー
～新エネ・省エネの先進県をめざします～

“アジアとつながる”

- 【戦略5】アクション・アジア
～成長するアジアの市場に打って出ます～

“安心を実現する”

- 【戦略6】長寿を楽しむ
～長寿を恐れない社会から長寿を楽しむ社会へ～
- 【戦略7】子どもの育ちと若者のチャレンジを応援
～熊本の未来の元気をつくります～
- 【戦略8】障がいのある人が暮らしやすい熊本
～ともに支え、ともに担う社会をつくります～
- 【戦略9】人が人として互いに尊重される安全安心な熊本
～一人ひとりを大切に、一人ひとりが大切にされる、安全安心な社会を実現します～
- 【戦略10】災害に負けない熊本
～熊本の防災力を高めます～

“百年の礎を築く”

- 【戦略11】熊本都市圏の拠点性向上
～将来の州都をめざします～
- 【戦略12】悠久の宝の継承
～熊本の宝を磨き上げ、引き継いでいきます～
- 【戦略13】環境を豊かに
～環境意識と行動を高めていきます～
- 【戦略14】熊本アカデミズム
～「知」の集積を「地」の活力につなげます～
- 【戦略15】夢を叶える教育
～次代を担う人材を育てます～

川辺川ダム問題・水俣病問題・行財政改革

【めざす姿】

活力溢れる元気な
くまもと

アジアの中で
存在感のある
くまもと

いつまでも楽しく、
元気で、安心して
暮らせるくまもと

誇りを持ち、
夢の実現に挑戦する
くまもと

「県民一人ひとりが幸せを実感し、住み慣れた地域で夢を持ち誇りに満ちた暮らしが送れる熊本」
幸せを実感できるくまもと

県民幸福量の最大化



©2010熊本県くまモン